

科目名	保育学研究 [院]					単位	2.0
担当教員	宍戸 健夫						
授業形態	講義	開講期間	前期	配当年次	1	授業番号	4681

●授業のテーマ

保育学研究の歴史と課題

●到達目標

保育学研究の歩みと今日の課題を理解する。

●学習内容(授業概要)

保育学とは保育についての科学である。乳幼児（ときには学童を含む）を対象として、その心身の健全な成長と人間的発達を促す営みであり、養護（ケア）と教育とが結合されて行われる親や保育者による意図的な活動であると、一般的に理解されている。この講義では、保育所・幼稚園など保育施設の保育者による専門的な活動の中で保育学がどのように形成されてきたのか、今日の保育学の課題は何かを明らかにしたい。

●学習内容(授業計画)

1. 自己紹介と本授業のすすめ方などについて
2. 保育学の誕生① R・オーエンの理念と実践
3. 同上 ② F・フレーベルの理念と実践
4. 日本の保育学の形成① 関信三「二十遊嬉」
5. 同上 ② 中村・和田「幼児教育法」
6. 保育カリキュラムの創造① 倉橋惣三と「系統的保育案」
7. 同上 ② 三木安正と「年間保育計画」
8. 同上 ③ 久保田浩と「幼児教育の計画」
9. 児童福祉と保育学—保育時間をめぐって
10. 世界の保育① スウェーデン
11. 同上 ② イタリア
12. 同上 ③ 中国
13. 受講者の研究報告と討議① 保育の理念をめぐって
14. 同上 ② 保育カリキュラムの考え方
15. 同上 ③ 福祉と教育について

●準備学習・事後学習の内容

毎回の授業のテーマごとに関連事項を調べ、準備学習をしておく。毎回の授業の要点・感想をレポートする。

●成績評価方法・基準

出席などによる平常のとりくみ（40%）と研究レポート（60%）などによる。

●テキスト（必携）

特になし。

●参考文献／その他

授業時に随時紹介する。

参考文献を毎回の授業で明示する。

●履修上の注意
特になし。